

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標 1 地域内経済を活性化させることで、安定した雇用を創出する。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課 (R2)	達成度	今後の方向性	外部評価意見
1	1	基本目標 1	事業名記載なし (起業・創業等の総合支援窓口の設置)	経済振興課	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度より「きみつの未来活力支援センター」において、事業者向け各種セミナーを企画し、実施して行く予定ですが、コロナ感染対策により当初計画より遅れています。是非、皆さんで応援をお願いいたします。 ・商工会との連携が良い結果につながったと考えられる。 ・きみつの未来活力支援センターは相談件数も増加してきており機能していると思われる。地元金融機関も商工会議所と連携をとり金融相談は幹事行が受けることとしている。(千葉、京葉、千葉興業、千葉信金、館信、君信、農協で半年毎に幹事を持ち回り) ・君津商工会議所と協力して、市内事業者のワンストップ相談窓口となる「きみつの未来活力支援センター」を設置し運営したことは大いに評価できる。相談件数は着実に伸びており、特に2020年度は新型コロナウイルスに関連する相談事項も増えていると聞いており意義ある事業だと考えます。今後は成果の見えるかを進めることが重要だと思います。 ・B評価：創業支援の相談窓口は有効で、少しずつ存在感が出ていくのではないかと。本事業は、創業を考える層をどのように開拓していくかと合わせて取り組んでいく必要があると思う。
2	2	基本目標 1	きみつ魅力あふれるお店づくり事業	経済振興課	A	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援は、会議所で相談業務を行っております。創業予定者の方々に、ご案内をしてください。 また、空き店舗の調査については、宅地建物取引業協会の方々にも、協力いただくように要請しては、どうでしょうか？ ・空き店舗情報の周知方法の記載がなかったので、どのような取り組みを行ったのか、結果を出せているので記載した方が良かったと感じた。 ・目標達成しているが商店街の空き店舗数 (H27年：63店舗⇒H30年：79店舗 (+16)) の増加が活用件数 (H27年：1件⇒R1年：15件 (+14件)) を上回っており、周知と更なる目標の増加が必要。 ・空き店舗は市全体では増える傾向にあるのは間違いないと考えており、地域経済を活性化する上で空き店舗の活用促進は重要だと思います。今後は財政上厳しい状況かと思いますが必要に応じて予算の増額および周知範囲拡大・徹底を期待します。 ・シートからは空き店舗活用をどのように促しているのかが分からないので評価できず。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標1 地域内経済を活性化させることで、安定した雇用を創出する。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
3	3	基本目標1	中小企業資金融資及び利子補給事業	経済振興課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度もお願いしていますが、他の金融機関同様に融資実行の可否が早急に判るような手続き等の迅速化制度改正を検討し、実行してください。また、利用限度額についても見直しを行ってください。そして会議所(きみつ未来活力支援センター)でも受付できる制度の検討をお願いします。 ・引き続き利用しやすい制度構築に向け取り組んでいくことが重要 ・他市の状況からすると金利、スピード、金額、書類の量（市で確認できる納税証明書は省略など）で積み上げが十分に可能と考える。 ・経営安定化のために必要な施策だと考える。今後の方向性に記載の内容に従い改善することを期待します。 ・C評価：事業目的が「経営の近代化・合理化」とあるが、むしろその限界が現状の問題なのではないか。少子高齢化からコロナまで含め、いかなる経営改革が求められているのかを明らかにしていけないと、この融資は生きてこないのではないかと。
4	4	基本目標1	きみつ食の彩りプロジェクト※加速化交付金分も含む	経済振興課、農政課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市産のイノシシ肉などの商品、イノシシ肉のフランクソーセージなどを販売されることですが、材料の安定供給は図れているのですか。また、市内の飲食業に提供して、君津市内から、まず拡大することを要望します。 ・地元消費ばかり考えるのではなく、レトルトをオンラインで販売するとか、レストランが地元が無いことを逆に奇貨と考えて、閉店で時間的余裕が出来た東京の料理人と食品を共同開発するとか、今やっておかないと、第二波が来た時に遅れる或いは間に合わないのではないかと。 ・イベントが中止になってしまったので、今後さまざまなイベントへ参加しながら名前を売っていくとともにブランド価値を高めていくことが重要 ・イベントによるPRを実施出来なかったことはやむを得ないと思う。取扱店については市内に限定せず、今後の方向性に記載の近隣市も含めたスーパーでの君津ジビエコーナー設置に期待します。 ・C評価：ジビエの食ブランド化はとても興味深く、今後も固有の価値として生かしていくことはできると思う。ただ、この動きが点に留まっており、面的な広がりとして見えてこないのと、情報発信と巻き込みを工夫されたい。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標1 地域内経済を活性化させることで、安定した雇用を創出する。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課 (R2)	達成度	今後の方向性	外部評価意見
5	5	基本目標1	事業名記載なし (異業種交流の促進)	経済振興課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス交流会の事後調査を、実施するため行政も協力をお願いします。 ・実施後のフォローが重要 ・君津商工会議所と協力して実施したビジネスマッチング交流会自体は盛況であったが、マッチング件数の把握が十分でないため関係者と協議し改善を図って頂きたい。 ・シートからはどのような狙いの下に異業種交流を図ろうとしているのかが見えてこないで、評価できず。
6	6	基本目標1	事業名記載なし (再生可能エネルギーの推進)	経済振興課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・久留里観光交流センターの「水汲み広場」の井戸より湧き出ている水は、90%以上放流(10t/30分)している状況ですが、小規模水力発電を整備することは、可能でしょうか？ ・情報収集を行ったあとの発信する取りくみを行うことが重要 ・再生可能エネルギーの活用は重要だと思うが、FITの見直し議論が始まっている状況下で雇用促進を目的とした場合は非常に困難だと思う。事業の目的を変更することも検討すべきだと考える。例えば、環境意識の高い方々をターゲットとした再生可能エネルギーを活用した新たな宅地開発を目指すなど如何でしょうか。
7	7	基本目標1	事業名記載なし (地産地消・地産外消の推進)	企画課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が多い場所でのPRは非常に効果的である。引き続きさまざまな場所でPRし、君津の魅力を発信してほしい。またPRの際には行政トップである市長が率先してPRすることで効果が期待できると感じる。 ・B評価：貨客混在のコンセプトはとても興味深く、生産者と消費者との距離を縮めていく努力として評価できる。ここからどのような方向に持っていきたいのか、さらに焦点を合わせていく必要があると思う。
8	8	基本目標1	農地中間管理事業 (戦略：事業名記載なし)	農政課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市の魅力は豊かな自然である。農業経営について市内外、また県内外へPRし、外から人を呼び込む取り組みもしてみたらどうか。 ・達成度はCであるが着実に成果を出しつつある。今後は新たな担い手開発に期待する。 ・C評価：継続事業ではあるものの、土地の集約化の意義やその後の可能性について、土地所有者とどこまで話し合いが深められているのかが分からない (KPI指標に加えるべき)。事業の展開状況に応じて課題を設定する必要があるのではないか。
9	9	基本目標1	獣肉処理加工施設維持管理事業	経済振興課、農政課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ+シカの処理頭数は目標120頭を大幅に上回る521頭を達成。これだけ急激に食肉として利用されたのは何頭？市内の飲食店は君津ジビエと検索しても2件の店舗しか出てこないが… ・A評価：方針の見直しに伴い、処理頭数が大幅に伸びたので、どこまで事業拡大が望めるのか、推移を見守る必要がある。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標 1 地域内経済を活性化させることで、安定した雇用を創出する。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
10	10	基本目標 1	野生猿鹿猪等被害防止対策事業	農政課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣捕獲業務委託 令和元年サル53頭、シカ1,538頭、イノシシ2,624頭、小動物838頭の計5,153頭も捕獲したが被害金額が減らないので目標を引き上げる必要がある。これだけ捕獲しても獣肉処理と乖離があるのは何故？ ・有害鳥獣による農作物被害額は未達であるが、重要な事業であるので継続することに異論はありません。今後は君津猟友会等と協力して捕獲者拡充をお願いします。 ・D評価：捕獲従事者や農業者の高齢化という側面を入れ込んでしまうと、状況認識としてはともかく、事業評価が正確になされないのではないか。被害と捕獲の関係をさらに炙り出せる指標が必要と思われる。
11	11	基本目標 1	有害獣被害防止対策事業補助金	農政課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・合計5,153頭の捕獲があり、有害獣被害防止柵の設置距離も21,890mも行ったのに被害額と目標の大幅乖離がある。設置場所を再検討したり、耕作放棄地や放任果樹に対する対策も必要では？ ・有害鳥獣による農作物被害額は未達であるが、重要な事業であるので継続することに異論はありません。近隣市での施策の中に参考となるものがあれば実施に向け検討すべきかと思えます。 ・D評価：対策による捕獲数と被害金額の推移だけでは、本事業の有効性を十分に見極めることが難しいと思われる。具体的な捕獲数が対策の有効性をどこまで炙り出しているのか、さらに説明が欲しい。
12	12	基本目標 1	事業名記載なし（新たな市内雇用の流れの創出）	経済振興課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・改善以外あり得ないでしょう。成功している他の地域の事例を見ると、待ちの姿勢でなく、企業を学校に連れて行って話して貰っており、幾らでも改善の余地はあるのではないかと思います。 ・なぜ参加者の申し込みがなかったのかもっと分析する必要がある。4年間で1回しか開催できなかったのはなぜか。スケジュール感を持って取り組むことが必要。課題の抽出をしっかりと行うことが重要ではないか。 ・君津青葉高校や上総高校の就職人数から考えると14の高校に案内を送付して参加申込みがないというのは異常。会社が少ないのか、日程が早いのか、高校生の本心を確認してから対策を考えるか廃止するか検討すべき。 ・潜在的な需要はあると考えており、近隣市と協力して対象となる高校、企業の拡大を検討して頂きたい。
13	13	基本目標 1	事業名記載なし（若年女性やシニア世代の就労支援）	経済振興課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス影響で求人倍率が大幅に落ち込む中、重要な事業だと思えます。今後とも積極的な事業展開を期待します。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標 1 地域内経済を活性化させることで、安定した雇用を創出する。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課 (R2)	達成度	今後の方向性	外部評価意見
14	14	基本目標 1	新規就農支援事業	農政課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市外あるいは県外から君津市へ来て農業をやりたい人はどのぐらいいたのか？ ・目標値累計23人<実績29人と目標達成しているが、H27年⇒H28年+6、H28年⇒R1年+6とこの3年間は大幅に減速。相談者11名⇒就農者2名と就農しなかった理由をもとに対策をたてるべき。 ・君津市は首都圏との交通の便も良く程よい田舎だと思う。そこで、気軽に農業を体験して貰い、君津市の良さを知って貰うための短期間の農業体験などを更に積極的に実施するようには如何でしょうか。 ・B評価：新規就農に関して、相談窓口を設けて橋渡しをしていくことが重要である。ただ、就農の魅力、さらには就農後の生活イメージがどうなるのか、さらに交流・体験の機会を通じて発信していく必要があるのではないか。
15	15	基本目標 1	企業誘致推進事業	経済振興課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を進めるためには、市内に用地を確保することが求められている。館山自動車道君津インターチェンジ周辺地域の土地規制見直しによる企業誘致等の推進について検討してください。(商工会議所は、県への要望「君津インターチェンジ周辺の利活用について」引き続き行っています。) ・企業誘致は安定雇用の創出であり、ひいては定住につながる(アンケートで若者は仕事の都合で転出入する)。達成度Aとあるが、人口減少が続いている以上はある程度の規模の会社の誘致が必要であり、誘致による雇用の増加数もKPIに加えるべきでは？ ・地域内経済の活性化を実現するためには、企業誘致施策に加えて多くの既存企業を対象とした設備投資への支援策を制度化し、win-winの関係を構築することが重要だと考えます。 ・B評価：シートからは企業誘致の魅力をどのように伝えているのかが分からないが、一定の実績が出ていることは評価できる。今後、コロナ禍によって、経営・雇用形態が変化し、それに伴って新たな意味で移転を考える企業も出てくることが予想されるので、射程を広げて取り組んでいく必要があると思う。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標2 新たなひとの流れを創出し、地域内へのひとの流れを促進させる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課 (R2)	達成度	今後の方向性	外部評価意見
16	16	基本目標2	定住促進事業	企画課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・A判定になっていますが、評価者自身気づいているように、感染症による経済停滞が懸念されているのに、ただ「注視する」で良いのか。 ・引き続き君津市の魅力を様々な場を活用し発信していくことが重要 ・新型コロナウイルス影響でテレワークによる在宅勤務が進んでいることもあり、かずさ地域は移住先として非常に注目されていると言われております。No.19の空き家バンクを充実するとともに市内の魅力発信に加えてFree Wifiの整備や利用しやすい通信費補助金を検討すべきかと思います。 ・C評価：移住は、ビジネス・老後・子育て・働き方・自然、そしてコロナなど様々な観点から検討がなされうるので、そのニーズに応えられるだけの検討素材を提供していく必要がある。また、移住検討者に地元を体験してもらう機会も積極的に作る必要があると思われる。
17	19	基本目標2	定住促進事業（空き家バンク分）	住宅営繕課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・HP「君津市空き家バンク」に掲載されている物件は、現在、2件の状況です。「空き家バンク」は、人気があると聞きます。定住促進を図るために、もっと、物件が必要ではないでしょうか。是非、広報を活用して「空き家」の募集を行ってはいかぬでしょうか。 ・空き家バンクの物件情報が2件しかホームページに紹介がない。通常の民間での売買や賃貸との再が分からない。空き家の数から成約が少なすぎるので市が関与するならもっとPRを。 ・No.16との連携強化すべきかと思います。 ・D評価：単なるマッチング事業としては限界があると思われる。空き家をどのように活用できるのか、いかなるニーズがあるのか、双方の情報を徹底的に炙り出し、その魅力を深掘りしていかないと、双方の数は増えていかぬと思われる。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標2 新たなひとの流れを創出し、地域内へのひとの流れを促進させる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
18	20	基本目標2	きみつ「風」を感じるプロジェクト	経済振興課	C	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルイベントを誘致する計画を推進しては、例えば千葉県最大のイベント「ツール・ド・ちば」を、木更津市発着から君津市発着へ変更誘致していくなど。さらには、君津市独自のイベント開催を計画するなど。 ・君津の山間部はサイクルツーリズムが人気があると受け止めている。人が訪れるからこそその地域と連携し、町の景観はもとより、地域のグルメなどにも取り組んでいけば、より利用者も増えると思う。 ・房総半島台風や新型コロナウイルス影響で結果は芳しくないが、方向性は間違っていないと思うので近隣市と連携を強化し政府のGO TOキャンペーンも活用して展開して頂きたい。 ・C評価：サイクリング観光へのニーズを踏まえ、少しずつ定着も図られつつあるところかと思う。ただ、この事業は単独で評価できるものではないので、他の取り組みと合わせて、観光施策として評価していくことが望ましい。
19	21	基本目標2	地方創生広域連携事業（里山インバウンドプロジェクト）※交付金活用事業（H28年度～）	企画課、農政課、経済振興課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド戦略は非常に良いと思う。一方、こうしたブランド戦略ではトップセールスで取り組むとより効果が期待できるのではないか。 ・房総半島台風や新型コロナウイルス影響で結果は芳しくないが、方向性は間違っていないと思うので近隣市と連携を強化し政府のGO TOキャンペーンも活用して展開して頂きたい。 ・D評価：広域的な事業として興味深いところではあるが、事業のストーリー性が見出せない。ジビエ促進・生態調査・捕獲人材育成・サイクリング・観光といったことがどのように結びついているのか、イメージが湧かないので、焦点を合わせた指標も立てづらいついていく。今少し、見直しを図るべきではないか。
20	22	基本目標2	観光推進事業	経済振興課	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・房総半島台風や新型コロナウイルス影響があったにも関わらず検討していると思う。Withコロナを徹底し広義の観光業界と協力して交流人口拡大に努めて貰いたい。 ・B評価：関係者の努力により、地域資源を多角的に発信して、観光客への働きかけがなされていく点は評価できる。ただ、地域の諸資源は、様々な磨きをかけていくことで持続性を持ちうるので、その場や機会がどれくらい設けられているのかが気になるところである。特に、コロナ禍の影響は、人の流れに新しい側面を加えるだけに、本格的な戦略が必要である。
21	23	基本目標2	（仮称）清和地区観光交流センター整備事業	経済振興課	判定不能	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは期限を設けて関係者と協議して事業見直しを行い、その結果によってはマンパワーは有限であることを考慮し廃止も仕方が無いと考えます。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標2 新たなひとの流れを創出し、地域内へのひとの流れを促進させる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
22	24	基本目標2	久留里線の魅力発信推進事業	企画課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・事業No.20のサイクルツーリズム事業と連携し、久留里線を利用したサイクルツーリズム客を増やす取り組みを行ってはどうか？ ・一時的なイベント参加者数をKPIに変更したが、輸送密度が減少を続ける以上は効果があるのか疑問。 ・輸送密度は本事業の厳しさを物語っていると考え、R2年に新たに設立されたJR久留里線活性化協議会での検討・対応に注視したいと思います。 ・B評価：久留里地区をめぐる関係人口づくりはどのようなコンセプトのもとに考えられているのか。それが明確でないと、いかなる魅力を誰に伝えるのが曖昧になり、事業が持続していかないとと思われる。
23	25	基本目標2	地方創生広域連携事業（里山プロジェクト）※交付金活用事業（H28年度～）	企画課、経済振興課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「房総さとやまGO」運行の費用対効果を、検証してください。乗客数の少ないバスを運行することは、税金の無駄遣いと言わざるを得ません。 ・PR不足解消に向けた課題は何か。 ・KPIの輸送密度、1便当たりの乗車人数ともに厳しい状況であり、市原、大多喜と観光事業としてのPRと食やスポーツとの連携で次の展開に期待したい。 ・No.24と同様に厳しい状況と考えるが、県及び関係市町とよく議論して頂き冷静に方向性を見極めて頂きたい。 ・D評価：移動手段は訪問目的が伴って初めて有効となるので、その訪問目的、つまり訪れる魅力を戦略的に立てていかないと成果に結びつかないと思われる。自然の魅力を全面に掲げる地域は年々増えているので、それらとの差異化を図るグランドヴィジョンをしっかりと立てた方がいいのではないかと。
24	26	基本目標2	事業名記載なし（若者の地元就職に対するインセンティブの創造）	企画課	A	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重に検討することは良いと思うが、期限を定めて検討を加速し具体的な施策提案を期待します。 ・C評価：若者の移住・定住は、当事者たちのライフプランをしっかりと満たしていける環境づくりが必要不可欠である。特定の手段だけでなく、若者たちがそれぞれのライフステージにどのような魅力を見出し、どのようなことにチャレンジしていけるのか、イメージが湧くようなものを提供していくことが望まれる。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標2 新たなひとの流れを創出し、地域内へのひとの流れを促進させる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課 (R2)	達成度	今後の方向性	外部評価意見
25	27	基本目標2	事業名記載なし（地域に愛着をもった人材の育成）	企画課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して市の広報などを活用し、若者視点での君津市の魅力を発信していくことが良いかと思う。 ・市の良い所の意見の割合で地域に魅力を感じることができたと考えるならKPI50%以上く実績57.4%の達成度はAでは？あるいはKPIの指標通りの質問で判断するか？ ・愛着を持って貰うには、まずは君津市を知って貰い、君津市で何かしらの体験をして貰い興味を持って貰う仕組みを継続することが重要だと考えますので今後とも地道な活動を継続願います。 ・C評価：若者たちが感じている魅力を共有し、自分たちなりに膨らませ、携わっていくことができる道筋をしっかりと作っていかないと、具体的な動きにはなっていないと思われる。
26	28	基本目標2	結婚相談関係費	市民生活課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のマッチング企業などと連携し、イベントを計画していく方が良いのではと考える。 ・結婚は本人たちの問題であり成婚数をKPIにすべきではないという考えもあるが、相談員2名、相談件数719件を考えると結果を求めるのは当然と思われる。婚活イベントはカップル成立が多いことから商工会議所と連携し盛大に行うことで市民の幸せを市がフォローするという考えで良いと思う。 ・君津商工会議所主催のきみ婚では多くの方が参加されております。話が重くならないように工夫は必要だと思いますが、きみ婚との連携を検討願います。 ・D評価：行政が取り組む事業なのか、改めて検討した方がいいのではないか。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標3 地域が一体となり、安心して出産・子育てできる環境を整える。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
27	29	基本目標3	特定不妊治療費助成事業	健康づくり課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な事業だと思いますので今後も継続願います。 ・A評価：さらに周知化が進むことで、事業効果を期待することができると思う。
28	30	基本目標3	妊娠・出産包括支援事業	健康づくり課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは利用者の満足度が相対的に高いことから、利用促進面でのKPIとしてはどうか？母子保健相談支援の件数など。 ・重要な事業だと思いますので今後も継続願います。 ・A評価：子育て包括支援を本格化させていくためには、より一層の協力体制が問われると思う。できるだけ当事者に即した支援や橋渡しができるために、綿密な連携を期待したい。
29	31	基本目標3	妊婦乳児健康診査事業	健康づくり課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法にSNSを利用するなどの追加・改善を検討願います。 ・C評価：受診率の伸び悩みは、子育て状況において何らかの原因があると推察される。その辺りを可能な限り分析していくとともに、従来の周知方法だけでなく、より当事者に接近を図ることができる情報伝達を工夫していくことが期待される。
30	32	基本目標3	母子保健推進事業	健康づくり課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・房総半島台風や新型コロナウイルス影響のため評価は難しいと思います。継続願います。 ・C評価：様々な生活状況がある中で、市が主催する教室やイベントに出ることは難しくなっていると思われる。できるだけ当事者の情報を把握しながら、不可欠な情報が的確に届けられ、必要に応じた支援が受けられるようにしていくことが望まれる。
31	33	基本目標3	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・統合等で環境が変化する中、関係者と連携し丁寧な対応をお願いします。 ・B評価：待機数がないことは望ましいが、利用者満足度を指標に上げていくことが必要かと思われる。コロナ禍を踏まえ、求められることが増えていることから、定期的にニーズ調査を行い、双方向的に対応していくことが必要と思われる。
32	34	基本目標3	地域子育て支援センター事業	子育て支援課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭には必要な事業であり目標を達成した。特に宮下どろんこ保育園ちきんえっぐは1日で25名の利用があり30年の設置としては人気が高い。各施設の改善と設置個所の増加も検討しては？ ・子育て世代にとって心強い施設だと思いますので引き続き新型コロナウイルス感染症防止策を講じつつ継続願います。 ・B評価：在宅子育てはどうしても引きこもりがちになるので、こうした場や機会が作られていくことはとても望ましい。ただ、そこに出てこられない保護者がいることも事実なので、オンライン相談や交流を始め、在宅でありながらも相談・交流できる環境を作っていくことが望まれる。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標3 地域が一体となり、安心して出産・子育てできる環境を整える。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
33	35	基本目標3	病児・病後児保育事業	子育て支援課	A	継続	<p>子育てと仕事の両立の支援として必要な事業であり、相応の利用実績があった。満足度5段階の3以上とは低くないか？延べ利用167人で調査配布34名ということは特定の人の利用に偏っていないか？</p> <p>・引き続きサービスの向上をお願いします。新型コロナウイルス感染防止も宜しくをお願いします。</p> <p>・A評価：必要不可欠な取り組みなので、継続させるとともに、利用者側と受け入れ側の「あいだ」を漏れなくつないでいく工夫も検討されたい。</p>
34	36	基本目標3	子育て短期支援事業	子育て支援課	A	継続	<p>・今後の方向性に記載通り継続をお願いします。</p> <p>・B評価：新規事業なので、今後の定着具合を踏まえていく必要がある。</p>
35	37	基本目標3	事業名記載なし（地域における人々の信頼関係や結びつきの「見える化」）	企画課	A	廃止	<p>・基本的に市の中心地は指数が低下するのは当然と思われるが、この指数が何に結びつくのか？十分な回答数なのか？（地域の偏り）。安心して子育てできる環境の整備に結びつくのに有効とは思えない。</p> <p>・ソーシャル・キャピタル指数の算出が完了したとのことですが、今後、安心して出産・子育てできる環境づくりに活用するのか具体策を紹介願います。</p> <p>・シートからは指数の算出をしたことのみがうかがわれるが、それだけでは事業評価できない。</p>

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標4 地域ごとに、持続性を担保しつつ活力ある地域を維持するため、市内の人口動態を明らかにし、時代に適合した新たなまちづくりをすすめる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
36	38	基本目標4	小糸川循環線バス運行事業	企画課	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が多い区間は、継続して行う一方、極端に乗車利用が少ない区間はNo.39と同様にデマントタクシーを活用してもらい取り組みを進めたら良いのではないかと ・小糸川循環線バス運行事業は1便当たり利用者数や収支率も相応に高い一方、中島・豊英線や人見・大和田・神門線はともに利用者数が収支率も低く、車両の大きさや運行場所、本数も含めて、再考の余地があると思われる。 ・受益者負担の見直しについて検討を加速願います。 ・C評価：公共交通は、単なる採算ベースでは維持できないと思われる。利用者が自分の生活スタイル（買い物や通院など）をどうしていくのかといった実態調査を丁寧に実施し、公共交通がいつどのような形で必要なのか、逆にどれくらい整えば後は自分で補えるのか、徹底した検討していくことが必要だと思う。
37	39	基本目標4	中島・豊英線バス運行事業	企画課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域にあった検討を継続願いたい。 ・小糸川循環線バス運行事業は1便当たり利用者数や収支率も相応に高い一方、中島・豊英線や人見・大和田・神門線はともに利用者数が収支率も低く、車両の大きさや運行場所、本数も含めて、再考の余地があると思われる。 ・路線見直しを早急に実施するようお願いします。 ・公共交通は、単なる採算ベースでは維持できないと思われる。利用者が自分の生活スタイル（買い物や通院など）をどうしていくのかといった実態調査を丁寧に実施し、公共交通がいつどのような形で必要なのか、逆にどれくらい整えば後は自分で補えるのか、徹底した検討していくことが必要だと思う。
38	40	基本目標4	人見・大和田・神門線バス運行事業	企画課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域にあった検討を継続願いたい。 ・小糸川循環線バス運行事業は1便当たり利用者数や収支率も相応に高い一方、中島・豊英線や人見・大和田・神門線はともに利用者数が収支率も低く、車両の大きさや運行場所、本数も含めて、再考の余地があると思われる。 ・受益者負担の見直しについて検討を加速願います。 ・公共交通は、単なる採算ベースでは維持できないと思われる。利用者が自分の生活スタイル（買い物や通院など）をどうしていくのかといった実態調査を丁寧に実施し、公共交通がいつどのような形で必要なのか、逆にどれくらい整えば後は自分で補えるのか、徹底した検討していくことが必要だと思う。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標4 地域ごとに、持続性を担保しつつ活力ある地域を維持するため、市内の人口動態を明らかにし、時代に適合した新たなまちづくりをすすめる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
39	41	基本目標4	デマンド交通事業（戦略：事業名記載なし）	企画課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・1日に2～3件程予約を断っているとあるが、理由は？利用時間が重複しているなら、その時間だけ増便対応するなど、効率の良い対応の検討を継続願いたい。 ・上記3事業の総括としては必要な事業であることは認めるが、効率的に集客を図りコストを抑える（利用客を増やす）ことを検討する時期。 ・利用者は相当数おられると考えますが、受益者負担の見直しについて検討を加速願います。 ・公共交通は、単なる採算ベースでは維持できないと思われる。利用者が自分の生活スタイル（買い物や通院など）をどうしていくのかといった実態調査を丁寧に実施し、公共交通がいつどのような形で必要なのか、逆にどれくらい整えば後は自分で補えるのか、徹底した検討していくことが必要だと思う。
40	42	基本目標4	事業名記載なし（コンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現）	企画課、建設計画課	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画は非常に重要だと考えるので関係者とよく議論し策定願いたい。
41	43	基本目標4	防犯推進事業	市民生活課	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な生活をおくるために防犯パトロールは重要であると考えてるので市民に協力して頂けるような環境を提供願いたい。 ・B評価：必要不可欠の取り組みであり、着実に継続できていると思われる。ただ、自主防災団体はコミュニティカの現れでもあるので、他の動きと合わせて、その強化に努めたい。
42	44	基本目標4	自主防災組織育成事業	危機管理課	A	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画の取り組み上に応じて制度の拡充をお願いします。 ・必要不可欠の取り組みであり、着実に継続できていると思われる。ただ、自主防災団体はコミュニティカの現れでもあるので、他の動きと合わせて、その強化に努めたい。
43	45	基本目標4	防災訓練関係費	危機管理課	D	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・台風を経験したことにより、防災への対応はより一層重要となっている。引き続き関係先と連携し、強化に努めていただきたい。 ・防災訓練は継続することが重要であるため継続願います。 ・必要不可欠の取り組みであり、着実に継続できていると思われる。ただ、自主防災団体はコミュニティカの現れでもあるので、他の動きと合わせて、その強化に努めたい。

施策・事務事業評価結果一覧 【基本目標4 地域ごとに、持続性を担保しつつ活力ある地域を維持するため、市内の人口動態を明らかにし、時代に適合した新たなまちづくりをすすめる。】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
44	46	基本目標4	消防団運営関係費（戦略：事業名記載なし）	消防総務課	D	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・手当の改善については、良い取り組みと考える。一方、世代交代や働き方が多様化している中において、出勤以外での操法練習などの訓練について、伝統ある取り組みと理解するものの、負担となり増員に繋がらない一つの要因となっているのではないかと ・目標に大きく届いていないがH28：953人⇒H29：889（△64人）は何か特殊な要因があったのか？団員の処遇の改善を継続すべき。また少人数での組織化も検討すべき。 ・君津市は面積も広く多くの消防団員が必要となりますが、限られた人材を上手く活用できるように組織再編を検討願います。 ・D評価：団員数を増やしていくことはなかなか難しいところではあるが、近年の災害増加をはじめ、消防団の必要性は高まっているので、改めてどのような時に何が必要となるのか、住民への課題提起が必要と思われる。
45	47	基本目標4	木造住宅耐震化促進事業（戦略：君津市木造住宅耐震改修補助制度）	住宅営繕課	E	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・台風影響については、やむを得ないと理解するものの、4年間の取り組み評価なので、台風以前の君津市の取り組みについては、どのように評価しているのか。 ・利用件数が低下した原因としては、台風影響等が考えられるが、そもそも目標に大幅未達の状態が続いているので、今後の方向性に記載されている改善策をしっかりと実施願います。
46	48	基本目標4	自治会連絡協議会補助金（戦略：事業名記載なし）	市民生活課	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き啓発活動を推進していただきたい。 ・地道に転入・転居者への取り組みを継続願います。 ・D評価：自治会は転換期にあることから、今後の持続可能性について本格的に住民と考えていく必要があると思われる。そのあり方は実に多様化し始めているので、コミュニティ活動の包括的な見直しとして、新規事業を立ち上げていくべきである。
47	49	基本目標4	介護予防・地域支え合い事業	高齢者支援課、健康づくり課	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・教室運営の状況もフォローしつつ、教室数を増加するために自治会長等との対話を継続願います。 ・B評価：事業の実施単位は自治会であると思われるが、果たしてそれで今後も持続させられるかどうか、検討が必要と思われる。自治会加入率の低下に伴い、介護予防や支え合いのコミュニティ母体をどのように考えていくべきか、包括的な検討が必要と思われる。
48	50	基本目標4	市シニアクラブ助成事業	高齢者支援課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とは何歳からOKなのか？高齢者は増加しているのにクラブ（66⇒56）は減少し会員数も減少している理由は？シニアクラブの選択肢が増加したならクラブ数を増加させれば会員数も増えるのでは？ ・本事業は重要であり継続して頂きたいが、高齢者の方がいきいきと暮らすための選択肢がシニアクラブ以外にも広がったのであればKPIの数値は見直しても良いのではないだろうか。

施策・事務事業評価結果一覧 【全ての基本目標にかかる事業及びその他の意見】

No.	事業No.	基本目標	事務事業	担当課（R2）	達成度	今後の方向性	外部評価意見
49	51	全	市民活動団体支援事業	政策推進課	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・見直し作業の加速化をお願いします。 ・C評価：市民活動団体への支援は、点から面へとシフトしつつある。従来の枠組みでの補助金拠出だけでなく、活動団体が相互に連携し会える環境づくりと、そうした連携の取り組みに対する支援が問われているので、その辺りを踏まえたニーズ調査と制度運用に見直しが必要と思われる。

<p>そ の 他 の 意 見</p>	<p>評価シートの特性上、致し方ない部分があることは承知していますが、為にする評価の色が強く出ている部分が見受けられます。2次評価でもそのような指摘が度々見られるので、それに対する考え方も訊きたいところです。</p> <p>例えば、事業No12も改善以外あり得ないでしょう。成功している他の地域の事例を見ると、待ちの姿勢でなく、企業を学校に連れて行って話して貰っており、幾らでも改善の余地はあるのではないかと考えられます。</p> <p>単純に継続すれば良いものではないというのは、KPIを達成したもので同じことです。例えば、事業No16はA判定になっていますが、評価者自身気づいているように、感染症による経済停滞が懸念されているのに、ただ「注視する」で良いのか。</p> <p>このコロナの関係で述べれば、事業No4でも、地元消費ばかり考えるのではなく、レトルトをオンラインで販売するとか、レストランが地元が無いことを逆に奇貨と考えて、閉店で時間的余裕が出来た東京の料理人と食品を共同開発するとか、今やっておかないと、第二波が来た時に出遅れる或いは間に合わないのではないかと。</p>
--------------------	---